

気になる生徒の実態把握をする上で

気になる生徒の実態把握をすることは、より良い支援に向けた第一歩です。また、今まで先生方が気づけなかった生徒の「困り感」を明らかにする上でも、実態把握の観点を設定して調べることは大事なことです。しかし実態把握の結果が、一人歩きしてしまったり、レッテル貼りにつながってしまうおそれもあります（障害の判断は医師にしかできません）。その結果の取り扱いには十分留意する必要があります。参考までに実態把握の観点の一例を下に載せます。

【参考】気になる生徒の実態把握のための観点シート（高等学校用）

☆【学習面】【行動面】【対人関係面】の3つのシート全てを実施してください。
 ☆学級担任、教科担当など必ず複数の人間でチェックしてください。（記1：記入者1 記2：記入者2 記3：記入者3）
 ☆該当項目数の多少で支援の必要性は決められません。該当項目数が一つしかない生徒でも支援を望んでいるかもしれません。

【学習面】

具体的な困難さやつまずき		記1	記2	記3
聞くこと	聞き間違いがある。(例 「知った」を「行った」と聞き間違える)			
	聞きもらしがある。			
	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。			
	指示の理解が難しい。			
	話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず、ついていけない)。			
話すこと	適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す。とても早口である)。			
	適当なことばが見つからず、ことばにつまったりする。			
	単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする。			
	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。			
	内容をわかりやすく伝えることが難しい。			
読むこと	初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える。			
	文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読みだりする。			
	音読に時間がかかり、遅い。			
	勝手読みがある(例 「いきました」を「いました」と読む)。			
	文章の要点を正しく読みとることが難しい。			
書くこと	読みにくい字を書く(例 字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない)。			
	独特の筆順で書く。			
	漢字の細かい部分を書き間違える。			
	句読点が抜けたり、正しく打つことができない。			
	限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない。			
計算する	数の意味や表し方についての理解が難しい。			
	簡単な計算が暗算でできない。			
	計算をするのにとても時間がかかる。			
	答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい。			
	文章題を解くのが難しい。			
推論する	量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい。			
	図形を描くことが難しい。			
	事物の因果関係を理解することが難しい。			
	目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい。			
	早合点や、飛躍した考えをする。			

【行動面】

	具体的な困難さやつまずき	記1	記2	記3
--	--------------	----	----	----

不注意	学校での勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする。			
	学習や活動で注意を集中し続けることが難しい。			
	面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える。			
	指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない。			
	学習課題や活動を順序立てたり、計画的にしたりして行うことが難しい			
	集中して努力を続けなければならない課題（学校の勉強や宿題など）を避ける。			
	学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう。			
	気が散りやすい。			
	日々の活動で忘れっぽい。			

多動性・衝動性	着席していても、手足をそわそわ動かしたり、もじもじしたりする。			
	授業中や座っているべき時に席を離れてしまう。			
	場をわきまえた行動を取ることが難しい。			
	行事などの活動に落ち着いて参加することが難しい。			
	じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する。			
	過度にしゃべる。			
	質問が終わらないうちに出し抜けて答えてしまう。			
	順番を待つのが難しい。			
	友達や教師のしていることをさえぎったり、邪魔したりする。			

【対人関係面】

	具体的な困難さやつまずき	記1	記2	記3
人への関わり方の困難さ	いろいろな事を話すが、その時の場面や相手の感情・立場を理解することが難しい。			
	友達と気持ちを共有したり、共感することが難しい。			
	周りの人が困惑するようなことも、気にしないで言うてしまう。			
	友達と仲良くしたいという気持ちはあるが、友達関係をうまく築けない。			
	友達のそばにはいるが、一緒に遊んだり活動したりすることはない。			
	仲の良い友達が少ない。			
	球技やゲーム等活動をする時、仲間と協力することが難しい（考えが及ばない）。			
	身振りやジェスチャー、目配せなど非言語的コミュニケーションが苦手である。			
他の生徒からいじめられることがある。				
コミュニケーション	含みのある言葉や嫌みを言われても理解できず、言葉通りに受けとめてしまうことがある。			
	会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある。			
	言葉を組み合わせて、自分だけにしか分からないような造語を作る。			
	誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す（例：唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶ）。			
	丁寧すぎる言葉遣いをするなど、場や相手に応じた話し方をすることが難しい。			
	共感する動作（うなずく、微笑むなど）が少ない。			
興味関心・こだわり	特定の分野にとっても精通しており、まわりから一目置かれている。			
	他の生徒は興味を持たないようなことに興味があり、「自分だけの知識世界」を持っている。			
	特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない。			
	とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある。			
	ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある。			
	自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる。			
特定の物に執着がある。				
その他	独特な声で話すことがある。			
	独特な目つきをすることがある。			
	独特な表情をしていることがある。			
	独特な姿勢をしていることがある。			
	意図的でなく、顔や体を動かすことがある。			
	常識が乏しい。			
	動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある。			
自分が非難されると過剰に反応する。				